

Eri Liao^{vocal}
Falcon^{guitar}
Marcelo Kimura^{vocal, guitar}

2023 07月29日(土)

開場 19:30 night live

開演 20:00

(2ステージ入替無)(1drink=600~)

MC=3700+2drinks order

CAFE **B**EULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail: info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



FALCON

アコースティックギターを軸にエフェクトを活かした空間的音作りによる独自の奏法が話題を呼び、ウェイウェイ・ウー(二胡)、中西俊博(vn)、カルメン・マキ(vo)、鬼怒無月(g)、マレー飛鳥(vn)等と共演。Eri Liao Trio、残歌、サイバー民族団など多数のバンドに参加、CDリリース。自然や風景を描写した作曲や、様々な地域の民謡とのコラボレーション、即興演奏を軸にダンス、朗読、写真とのコラボレーションなど多様な音楽に取り組む。2023年 Eri Liao と飛鳥 strings をフォーカスして作詞作曲、アレンジも手掛けて「うた」に取り組んだプロジェクト「Emsemble Falca」の作品を発売予定。

<https://eriliao.jimdofree.com/>

Eri Liao

歌手。台湾・台北市出身。幼少時から自身のルーツである台湾原住民族タイヤル族の音楽や踊りに親しむ。東京大学大学院在学中、ジャズに関心を持ちニューヨークへ。文芸創作とジャズを学ぶ。祖母の死をきっかけに本格的に音楽活動に取り組む、現地ミュージシャンとセッションを重ねる中、Billy Harper (ts) ボーカルプロジェクトメンバーに抜擢され、シンガーとして活動開始。ジャズから台湾原住民音楽、民謡など、古今東西、言語やジャンルを超えて心揺さぶる「うた」の世界を歌い続けている。2017年9月、Eri Liao Trio 1st アルバム「紅い木のうた」発売。2022年7月、第9回国際口琴大会(ベルリン)にて Lubuw (タイヤル族竹口琴) 演奏。

<https://eriliao.jimdofree.com/>

マルセロ木村

1979年ブラジル サンパウロで音楽一家に生まれ、ギタリストである祖父の影響にて幼い頃からギターに慣れ親しむ。タトゥイで Marcos DelHommo, Pacheco よりギターを師事。若干16歳にして、タトゥイの音楽学校より講師のオファーを受け指導。個人レッスンやライブハウス・ラジオ・テレビ局などでも演奏を行い、その後ショーロ・サンバ・ボサノヴァは勿論、ロックやジャズも同等にこなし、それらをクロスオーバーさせた独自のサウンドスタイルを展開。2009年1月にインストゥルメンタル・サンバジャズ・ユニット MISO BANANA を結成し、2010年1月にアルバム『Uirapuru』リリース。サウンドメーカーとしても国内外の多くの有名アーティストより信頼を受け、サウンド提供・アレンジ・レコーディングと幅広くサポート。名古屋に Música&Bar Marcelo (ムジカ& バーマルセロ) をオープンさせ国内外の有名アーティスト(小野リサ、パウラ・リマなど)との素晴らしいセッションやサウンドをお届けするとともに、若手に活動の場を与え育成にも力を入れる。日々意欲的に音楽と向き合い、ソロとして世界に向け全国にて活動中。2013年10月に、ソロ名義初となるアルバム『Morro Do Urbana』をモーションブルー横浜でリリース。LIVE2014年6月には、地元、名古屋ブルーノートにて「マルセロ木村 CD リリース LIVE」を大成功におさめる。